

DAFTAR PUSTAKA

Akari, Matsumura. 2018. "Digital Daijisen" <https://dictionary.goo.ne.jp/jn/>.

Diakses pada 20 Maret 2023.

Alwi, Hasan. 2002. *Kamus Besar Bahasa Indonesia*. Jakarta: Balai Pustaka.

Aminuddin. 1995. *Stilistika. Pengantar Memahami Bahasa dalam Karya Sastra*.

Semarang: IKIP Semarang Press.

Anshar, Tengku Muhammad. 2022. Jurnal: *Penggunaan Kandoushi Yang Menyatakan Keterkejutan Dalam Manga Dr. Stone Volume 1-7*. Padang:

Fakultas Ilmu Budaya Universitas Bung Hatta.

Echols dan Shadily. 1996. *Kamus Inggris Indonesia*. Jakarta: Gramedia.

Endraswara, Suwardi. 2003. *Metodologi Penelitian Sastra*. Yogyakarta: Pustaka Widyatama.

Fahreza, Dimas Sultan. 2021. Jurnal: *Perubahan Makna Pada Kosakata Serapan (Gairaigo) Dalam Manga Dr. Stone Volume 1-5*. Surabaya: Fakultas Bahasa dan Seni Universitas Negeri Surabaya.

Fananie, Zainuddin. 2000. *Telaah Sastra*. Surakarta: Muhammadiyah University perss.

Faruk. 2012. *Metode Penelitian Sastra: Sebuah Penjelajahan Awal*. Yogyakarta: Pustaka Pelajar.

Inagaki, Riichiro. *Dr. Stone: volume 1-3*. Tokyo: Shueisha Inc.

Keraf, Gorys. 2009. *Diksi dan Gaya Bahasa*. Jakarta: Gramedia.

Geoffrey. 1983. *Principles of Pragmatics*. Harmondsworth: Penguin.

2009. *Pragmatik dan Penelitian Pragmatik*. Yogyakarta: Graha Ilmu.

o, Rachmat D. 1993. *Pengkajian Puisi*. Yogyakarta: Gadjah Mada



University Press.

Rahardi, Kunjana. 2005. *Pragmatik Kesantunan Imperatif Bahasa Indonesia*.

Jakarta: Erlangga

Rahardi, K. (2020). *Konteks Pragmatik Dalam Perspektif Cyberpragmatics*.

Linguistik Indonesia, 38(2), 151–163.

<https://doi.org/10.26499/li.v38i2.132>

Rahmat, Jalaludin. 2012. *Retorika Modern Pendekatan Praktis*. Bandung:

Rosdakarya.

Ratna, Nyoman Kutha. 2013. *Teori, Metode, dan Teknik Penelitian Sastra dari*

Strukturalisme hingga Poststrukturalisme Perspektif Wacana Naratif.

Yogyakarta: Pustaka Belajar.

Ratna, Nyoman Kutha. 2014. *Stilistika: Kajian Puitika Bahasa, Sastra, dan*

Budaya. Yogyakarta: Pustaka Belajar.

Shiang, Tjhin Thian. 2019. *Kamus Lengkap Terbaru Jepang-Indonesia*

Indonesia-Jepang. Jakarta: Gakushudo.

Siswanto. 2010. *Metode Penelitian Sastra*. Surakarta: Pusat Pelajar.

Sugiyono. 2004. *Metode Penelitian*. Bandung: Alfabeta.

Sutrisno dan Wiendjarti. 2014. *Kajian Retorika Untuk Pengembangan*

Pengetahuan dan Ketrampilan Berpidato. Jurnal Ilmu Komunikasi. 12

(1): 70-84'

Tarigan, Henry Guntur. 2013. *Pengajaran Gaya Bahasa*. Bandung: Angkasa.

Walidin, W., Saifullah, & Tabrani. 2015. *Metodologi penelitian kualitatif &*

grounded theory. FTK Ar-Raniry Press.

村. 1997. 比喩表現の理論と分類. 東京: 秀英出版.



LAMPIRAN KLASIFIKASI DATA

No.	Ungkapan	Jenis	Sumber (bab/halaman dari manga Dr. Stone)
1.	「体が <u>石像のように</u> 動かん」	直喩	1/21
2.	「見るからにアウトだろこんな <u>マリオのキノコ</u> みてえなのよ！」	直喩	2/3
3.	「俺は <u>卵の殻を破る</u> みたく復活した」	直喩	14/8
4.	「 <u>科学の旗</u> みたくて千空くんに似合うかも」	直喩	15/7
5.	「 <u>ゴミ</u> みてえな心理本書いてたマジシャンだ」	直喩	23/10
6.	「言葉が <u>羽根のように</u> めっぽう軽い...!」	直喩	23/11
7.	「裸一貫で冬に目覚めりゃ食料調達で即 <u>ゲームオーバー</u> だ」	隠喩	1/47
8.	「 <u>コウモリの糞</u> から生まれた <u>奇跡の水</u> 」	隠喩	2/8
9.	「そもそも <u>ファンタジーの領域</u> だ」	隠喩	2/10
10.	「肉体作業はもう全部 <u>チート体力</u> のテーマに任せる」	隠喩	2/13
11.	「科学知識をもった人類最後の <u>砦</u> 、千空だけは死なすわけにはいかん」	隠喩	3/11
12.	「素手でライオンを <u>ブッ倒すチート武力</u> の男だぞ」	隠喩	4/1
13.	「この石の世界、まだなんの <u>汚れ</u> もない楽園だ」	隠喩	4/16
	「 <u>ミケモン</u> じゃねえか 無敵だろこ寺代じゃ」	隠喩	6/17
	「俺らは司にビビって大慌てで食料ヲ持って逃げましたっつう <u>演出</u> 」	隠喩	7/1



	な」		
16.	「80km <u>フルマラソン</u> 2周か、5 時間もあれば着くか？」	隠喩	7/3
17.	「千空は石化中 1000 億秒とか数えてたんだぞ、このくらい <u>朝飯前</u> だ！」	隠喩	7/4
18.	「火薬の原料、 <u>硫黄</u> が採り放題の <u>バーゲンセール</u> だ」	隠喩	7/18
19.	「 <u>諸刃</u> の狼煙だ、周り中に居場所知らせることになる」 x	隠喩	9/3
20.	「千空お前は人類の！文明の！ <u>希望の星</u> なんだ！」	隠喩	12/16
21.	「これでクロムもなかなか <u>お子ちゃまだ</u> な」	隠喩	21/10
22.	「つっても連中にとっちゃ十分 <u>神の飯</u> なはずだ」	隠喩	22/19
23.	「 <u>司！千空は生きてた！</u> 」ハイそれで君は <u>一卷の終わり</u> 」	隠喩	23/16
24.	「ぶっちゃけね～～ <u>10-0</u> で司帝国の勝ちと思ってた」	隠喩	23/16
25.	「電球が世界から <u>夜</u> を消した」	隠喩	25/13
26.	「俺らの時代に、 <u>暗闇は無え</u> 」	隠喩	25/13
27.	「 <u>フルパワー</u> でフラれるに 100 円」	諷喩	1/10
28.	「 <u>死んでも生きてやる</u> 」	諷喩	1/29
29.	「 <u>どんだけ寝坊してやがんだてめー</u> 」	諷喩	1/45
30.	「80 万秒周期くらいで <u>ピーク</u> が来んな」	諷喩	1/46
31.	「 <u>脳を並列に</u> 使え」	諷喩	1/46
	「 <u>俺一人じゃ生活基盤作成だけで二日終わる</u> 」	諷喩	1/49



33.	「どうしても <u>体力バカ</u> が欠かせねえ」	諷諭	1/49
34.	「人類が石の時代から近代文明まで200万年、 <u>そこを一気に駆け上がる</u> 」	諷諭	1/50
35.	「俺ら高校生のガキ二人で <u>ゼロから</u> 文明を作り出すんだよ」	諷諭	1/52
36.	「この <u>石の世界のアダムとイブ</u> になってやる」	諷諭	1/53
37.	「見るからに <u>アウト</u> だろこんなマリオのキノコみてえなのよ！」	諷諭	2/3
38.	「俺は！考える工夫のできんぶん、 <u>気合いと量でカバー</u> してみせる」	諷諭	2/4
39.	「言うとは思ったぞ <u>デカブツ</u> 、めんどくせえから <u>欠片</u> も説明しねえ」	諷諭	2/8
40.	「地道に <u>一步一步</u> ！な！」	諷諭	2/15
41.	「こっから先はちーと <u>骨が折れんぞ</u> 」	諷諭	2/15
42.	「 <u>ファンタジー</u> に科学で <u>勝ってやんぞ</u> 」	諷諭	2/24
43.	「ど〜でもいいじゃねえかこの非常時の <u>ストーンワールド</u> だよ」	諷諭	3/4
44.	「初めからほぼ <u>詰んでんだよこのゲーム</u> はよ」	諷諭	3/10
45.	「 <u>テメーのカード</u> は体力だ、武力じゃねえ」	諷諭	3/11
46.	「俺は頭を使う、テメーは体を使う。 <u>片方</u> が欠けるわけに行かねえだろが」	諷諭	3/11
47.	「いざとなればこの俺が！ <u>盾</u> となつて」	諷諭	3/11
48.	「逃げられないのなら！ <u>一か八か</u> 」	諷諭	3/12
	「まあそうなんだが、銃もねえこの <u>糞</u> だとなア」	諷諭	3/23



50.	「例えばもし奴が欲望モロ出しの悪代官だったらどうすんだ」	諷諭	4/1
51.	「俺と千空の <u>タッグ</u> なら保存食は心配ないね」	諷諭	4/8
52.	「これでやっとう文明の <u>一步目</u> に進めるな」	諷諭	4/8
53.	「さ〜ァ <u>楽しいクイズ</u> の時間だぞ」	諷諭	4/8
54.	「何百年 <u>ワープ</u> してんだデカブツ！」	諷諭	4/8
55.	「想像超えるアホ回答に色白の司が倍 <u>プッシュ</u> で顔面蒼白じゃねえか」	諷諭	4/8
56.	「そこの雑アタマでもわかる言い方で言うとそれな、グラウンドの白線引きだ」	諷諭	4/9
57.	「目の前で男を褒める男はホモか <u>タヌキ</u> かどっちかだ」	諷諭	4/12
58.	「貝殻の重要な <u>使い道</u> 」	諷諭	4/13
59.	「バイ菌浄化するこの小せい塊が医者がわりの <u>命の石</u> 」	諷諭	4/11
60.	「つまり土が <u>レベルアップ</u> する」	諷諭	4/11
61.	「千空君は心の汚れた年寄りたちまで全員助けるつもりかい？」	諷諭	4/15
62.	「また持たざる弱者を <u>食い物に</u> します」	諷諭	4/15
63.	「この <u>石の世界</u> 、まだなんの汚れもない楽園だ」	諷諭	4/16
64.	「その秘密がバーサス司の <u>切り札</u> になる」	諷諭	4/19
65.	「なんだこりゃ復活液 <u>1名様</u> ぶんに足りねえじゃねえか」	諷諭	5/4
	「 <u>自然食</u> いつくわな」	諷諭	5/5



67.	「 <u>諸刃のエサ</u> だ。洞穴の場所をバラしてでも枉復活前に司を排除したかった」	諷諭	5/9
68.	「 <u>文明作りゲーム</u> のが唆るもんでな」	諷諭	5/9
69.	「 <u>道</u> は二つしかねえ、どっちか選べ！」	諷諭	5/19
70.	「熱意は分かったから少しは説明聞け <u>似たもん夫婦</u> 」	諷諭	6/1
71.	「間引いてるんだ、 <u>新しい世界</u> のために」	諷諭	6/2
72.	「司を止める <u>手</u> はもうたった一つだ」	諷諭	6/17
73.	「火薬さえ完成させちまえば俺らの <u>勝ち!</u> 」	諷諭	7/1
74.	「無敵の殺人鬼司と戦うには火薬を作るしかねえ」	諷諭	7/1
75.	「これはそういう <u>レース</u> なんだよ」	諷諭	7/1
76.	「つってもこの <u>ゴミ</u> しかナビはねえんだ」	諷諭	7/4
77.	「千空、君は尻尾を巻いて逃げ出すような男じゃない」	諷諭	7/15
78.	「いよいよ <u>バーサス司</u> の究極兵器、黒色火薬の誕生だ」	諷諭	7/19
79.	「その無駄巨体が珍しく <u>火噴いてんな</u> 」	諷諭	7/12
80.	「この逃げ場もない <u>極限の石の世界</u> で」	諷諭	8/2
81.	「さあ楽しい <u>火薬クッキング</u> の時間だ！」	諷諭	8/6
82.	「雑アタマが珍しく正解じゃねえ <u>100億万点やるよ</u> 」	諷諭	8/7
	「 <u>急し味</u> で砂糖とかをちょちよつとトとパワーが上がる」	諷諭	8/8



84.	「手足ふっとぶ <u>レベル</u> の事故もバンバン起きてっから」	諷諭	8/12
85.	「 <u>万が一</u> が <u>一司</u> が追ってきたりしたら100億%見つかるからな」	諷諭	8/15
86.	「 <u>つっても</u> こっちは <u>科学</u> の <u>カ</u> の字も知らねえガキだ」	諷諭	10/3
87.	「 <u>道具</u> だけは <u>きつと</u> <u>サンタ</u> が用意してくれる」	諷諭	10/3
88.	「自分の編みぐるみとか超 <u>羞恥</u> <u>プレー</u> なんですけど」	諷諭	10/9
89.	「今ここで誓ってくれないか、 <u>科学</u> を捨てる」と」	諷諭	10/13
90.	「この <u>星</u> が <u>石の世界</u> に出会っていたら」	諷諭	10/17
91.	「千空が最期に残した <u>科学</u> の <u>忘れ形見</u> 」	諷諭	11/16
92.	「俺のボディ自体が <u>値千金</u> の謎ときの手がかりになる」	諷諭	13/3
93.	「初めて生まれた <u>一匹目のツルッピカ猿</u> か」	諷諭	13/6
94.	「今日が <u>紀元ゼロ年</u> こっからスタートだ」	諷諭	13/8
95.	「 <u>創意工夫</u> で森羅万象を <u>しゃぶりつくす</u> 科学の支配者！」	諷諭	13/19
96.	「さ〜ていい加減「 <u>疲労感</u> なんざ無視が合理的」 <u>スイッチ</u> も限界か」	諷諭	14/2
97.	「人間とツバメだけが <u>ピンポイント</u> で狙われたってことだ」	諷諭	14/7
98.	「 <u>殻のパズル</u> に隙間があんのはそのせいだな」	諷諭	14/9
99.	「なら俺の復活の <u>カギ</u> は別の特殊な外的要因」	諷諭	14/9
	その方角に <u>カギ</u> がある」	諷諭	14/9
	700年間！俺は <u>意識</u> を飛ばさなかつた」	諷諭	14/14



102.	「俺は <u>脳を動かすエネルギー</u> に石のナニカを消費した」	諷諭	14/14
103.	「科学の基礎だけは絶対に <u>揺らがねえ</u> 」	諷諭	14/16
104.	「もう大声で叫ぶんじゃねえぞ 司に聞こえたら <u>一発アウトだ</u> 」	諷諭	15/3
105.	「逐一感謝の <u>言葉垂れ流す</u> じゃねえぞ 俺も言わねえ」	諷諭	15/6
106.	「司は俺の居場所を <u>あの世</u> だとカン違いしてる」	諷諭	15/12
107.	「こんな有利な <u>バトル</u> はねえ」	諷諭	15/12
108.	「その <u>司帝国</u> を倒して人類浄化の大量破壊を止めるには科学で戦う」	諷諭	15/13-14
109.	「なんかすごいアッサリ、男同士は <u>ドライ</u> ですな」	諷諭	15/16
110.	「司と <u>"X"</u> が接触してるとヤバすぎる」	諷諭	16/2
111.	「穏やかじゃないな まずは <u>初めまして</u> じゃないのかい？」	諷諭	16/5
112.	「自己紹介なら <u>地獄</u> でしろ！」	諷諭	16/5
113.	「あまつさえその身代わりとなった紳士の男を無慈悲に <u>葬った</u> 」	諷諭	16/7
114.	「 <u>千空先生</u> の発明品 <u>オールスター</u> 大集合じゃねえか！」	諷諭	16/15
115.	「君のその一步一步問題解決へと楔を打ち続ける <u>揺らがぬ信念</u> がだよ」	諷諭	16/18
116.	「いきなり <u>惚れたはれた</u> かよこの非常時によ」	諷諭	17/3
117.	「恋愛脳は一番非合理的な <u>トラブル</u> の種だからな」	諷諭	17/3
	「生き様は紳士だが口の悪さは <u>異次</u> の男だな」	諷諭	17/4
	「どっから <u>湧いて出たんだ</u> この連中？」	諷諭	17/15



120.	「沿岸から見えたぜ！こいつがよ <u>即来なきやウソだぜ！</u> 」	諷諭	18/2
121.	「 <u>こども科学実験室</u> かテメーらは」	諷諭	18/14
122.	「 <u>戦利品鑑定祭り</u> はもう任せる」	諷諭	19/4
123.	「 <u>クソの役</u> にも立たねえが」	諷諭	19/6
124.	「もう <u>一押し</u> だ奴は！」	諷諭	19/7
125.	「 <u>病気をブッ倒す</u> 」	諷諭	20/5
126.	「ペニシリンが便利すぎて <u>歴史の影</u> <u>に消えたのがサルファ剤だ</u> 」	諷諭	20/8
127.	「そういう超ラッキーに期待する <u>運</u> <u>ゲーだ</u> 」	諷諭	20/8
128.	「100億%必ず万能薬に <u>辿り着く</u> 」	諷諭	20/8
129.	「一歩ずつ一歩ずつ地べた <u>這いずり</u> 回って作ってんだよ」	諷諭	20/9
130.	「 <u>しょうもねえ奴</u> だ俺も」	諷諭	20/14
131.	「鉄の時代の <u>幕開け</u> だ」	諷諭	20/19
132.	「科学王国は来る者拒まず猫の <u>手も</u> <u>借りてえんだ</u> 」	諷諭	21/6
133.	「 <u>科学王国</u> は来る者拒まず猫の <u>手も</u> <u>借りてえんだ</u> 」	諷諭	21/6
134.	「俄然そのルリって女に <u>興味が湧い</u> <u>てきやがった</u> 」	諷諭	21/9
135.	「とっとと作っちまおうぜ 科学王 国の <u>夜明け</u> 鉄って奴をよ！」	諷諭	21/11
	「けるぜこの <u>パターン</u> 科学の <u>エ</u> <u>ゴロ</u> 説く」	諷諭	21/19
	「 <u>中間</u> をゲットする 科学の <u>餌</u> で ！」	諷諭	22/2



138.	「 <u>釣れそう</u> な奴がいねえか情報収集だ」	諷諭	22/2
139.	「そういうことね 必死こいてる心の隙に <u>カマ</u> かけようと勇氣あんな」	諷諭	23/14
140.	「長髪男の <u>手先</u> 確定だ 殺すか!!」	諷諭	23/15
141.	「だがもし鉄の武器ができれば <u>勝負</u> はわからない....!!」	諷諭	23/17
142.	「俺は <u>誰</u> を切っても <u>勝ち馬</u> になる!」	諷諭	23/18
143.	「天然もんじゃ磁力が <u>話</u> にならねえ」	諷諭	24/7
144.	「おりて来たぜ。 <u>電気の神</u> が」	諷諭	24/18
145.	「 <u>二刀流</u> 手回し発電機、完成だ...!!!」	諷諭	25/8
146.	「科学文明、俺らの <u>妖術世界</u> ではもうねあらゆるカラクリが電気で動いてんの」	諷諭	25/10
147.	「人類は科学で「 <u>夜</u> 」に <u>勝った</u> んだよ」	諷諭	25/14
148.	「白く眩い <u>科学の灯</u> 」	諷諭	25/14
149.	「一年 4 ヶ月でようやく <u>辿り着いた</u> 科学の根幹に「 <u>電気</u> 」に」	諷諭	25/20
150.	「テメーのおヒゲのケアに <u>大活躍</u> してた貝殻だ」	活諭	4/9
151.	「 <u>セメント</u> の子供だな、デケえかまどや家が建つ」	活諭	4/11
152.	「 <u>大仏</u> が <u>道</u> を <u>教えて</u> くれたしな!」	活諭	7/10
153.	「いよいよバーサス司の究極兵器、 <u>色火薬</u> の <u>誕生</u> だ」	活諭	7/19
	勃とかいう非合理的なもんが <u>告げ</u> 々がる」	活諭	8/18



155.	「もし科学の武器を作り <u>旧世代を蘇らせれば</u> 既得権益を求めて争い出し」	活喩	9/8
156.	「少年様の夢ツリーハウスの <u>誕生</u> だ！」	活喩	14/2
157.	「この石化こそまさに医者がわりの命の石、 <u>ドクターストーン</u> じゃないか！」	活喩	15/7-8
158.	「"石化がとける時周辺もろとも修復される" <u>なんともご親切な科学現象</u> じゃねえか」	活喩	15/9
159.	「怪しげな黒い粉で「 <u>山の怒り</u> 」を呼ばれていたじゃないか」	活喩	16/8
160.	「 <u>文明が文明を産む</u> 」	活喩	17/9
161.	「どうりで箱根道中俺の <u>ナビが狂って迷った</u> わけだ」	活喩	20/14
162.	「 <u>空の怒り</u> を呼んだのは貴様か？」	活喩	24/12
163.	「んな <u>タマ</u> じゃねえだろう テメーはよ」	提喩	1/50
164.	「 <u>科学の力</u> で人類全員！ もれなく助けてやる」	提喩	4/17
165.	「見ろ！ 大仏の周りだけ <u>緑</u> が全く生えてない」	提喩	7/10
166.	「 <u>疲労回復液</u> に早くつかりたきやとととゴール行くぞ！」	提喩	7/14
167.	「 <u>メス</u> なら他にいくらでも」	提喩	9/9
168.	「 <u>何寝言言ってやがる</u> 」	提喩	10/15
169.	「 <u>食事はダメだが宝物</u> ならいただく？」	提喩	23/5
170.	「だからさこの <u>武器</u> おろしちやっっていない」	提喩	23/10



171.	「 <u>頭を使う</u> ことは千空お前に任せる！」	換喩	1/51
172.	「キャンプ戻って <u>ファランクス</u> くらいしか <u>手がねえ</u> 」	換喩	3/10
173.	「 <u>テメーは体を使う</u> 」	換喩	3/11
174.	「あんなんでも <u>潰れるタマ</u> じゃねえだろ、起きろデカブツ！」	換喩	6/19
175.	「岩の軌道を読みつつも司は決して大樹から <u>目を切らない</u> 」	換喩	11/12
176.	「 <u>手出すん</u> じゃねーぞ」	換喩	18/4
177.	「キンローギンローゲットで科学王国国民もだ いぶメンツ が揃ってきたな！！」	換喩	25/11
178.	「それは 3700 年ぶりに <u>地球</u> を照らした」	換喩	25/14
179.	「キャンプ戻って <u>ファランクス</u> くらいしか <u>手がねえ</u> 」	引喩	3/10
180.	「これで人類は知力、体力、武力の <u>三銃士</u> がそろったってことだ」	引喩	3/23
181.	「最期まで妹を <u>人魚姫</u> にはしてあげられなかった」	引喩	4/14
182.	「司と二人愉快地に <u>シリトリ</u> でもしながら待っててやっから」	引喩	5/4
183.	「" <u>賢者の石</u> "もあんじゃねえか！」	引喩	19/4
184.	「 <u>モンハン</u> で素材ばっかやたら集めてる奴みてえだなテメーはよ」	引喩	19/8
185.	「 <u>桃太郎</u> かよ！」	引喩	21/7
186.	「ひったすら空気送り続けて炎の攻めを 700→1500 に <u>バイキルト</u> させろよ」	引喩	21/13
	「なんで <u>アンパンマン</u> になってるの？」	引喩	25/8



188.	「 <u>声帯ブチ切れるほど</u> 応援してるわ、この科学室から」	張喩	1/6
189.	「うるせえな。 <u>一ミリも</u> 応援してねえよこのデカブツ」	張喩	1/6
190.	「 <u>死ぬほど</u> 合理的な方法をくれてやる」	張喩	1/6
191.	「 <u>80 万秒周期</u> くらいでピークが来るな」	張喩	1/46
192.	「 <u>たかだか</u> 数千円 <u>ぽっち</u> ふんばれねえような」	張喩	1/50
193.	「既に <u>アホほど</u> 試してんだよ、手をかえ品をかえ」	張喩	2/9
194.	「 <u>顔が変わるほど</u> 殴られたよ」	張喩	4/14
195.	「 <u>洞穴の奇跡の水のこと</u> だけは <u>死んでも</u> 隠さねえとな」	張喩	4/19
196.	「なァ〜に、 <u>ほんの 80km ちょい</u> の大冒険だ」	張喩	7/2
197.	「こんなもん、木燃やしゃ <u>いくらでも</u> 手に入る」	張喩	8/7
198.	「これ作んのは <u>クソほど</u> 時間かかんのので」	張喩	8/7
199.	「お優しすぎる死刑判決に <u>全米が泣くわ</u> 」	張喩	9/8
200.	「俺には取り巻きは <u>山ほど</u> いるが大切な人間などいない」	張喩	9/11
201.	「うるう秒が <u>死ぬほど</u> めんどくせえ」	張喩	13/8
202.	「体力バカの大樹でも手芸部 <u>ウルトラ器用</u> の杠でもねえんだ」	張喩	13/10
203.	「信じて <u>いくらでも</u> 待つぞ」	張喩	14/18
	「 <u>隼</u> な大樹じゃ <u>100 億%</u> ムリだ」	張喩	15/10



205.	「あの紳士の妖術使いの男に <u>魂朽ちるまで詫び続けろ!</u> 」	張喩	16/7
206.	「無駄口叩くな 自己紹介は後で <u>飽きる程</u> 聞いてやっから体力温存しゃがれ」	張喩	16/13
207.	「そんな話は <u>微塵</u> もしてない!」	張喩	17/3
208.	「ただこの橋を <u>一步でも渡ったなら斬る</u> 」	張喩	19/5
209.	「人手が <u>いくらあっても足んねえよ</u> 」	張喩	21/13
210.	「毎日毎日焼き魚に <u>飽き飽き</u> で死に <u>そう!</u> って新しいお食事探してたんだよ」	張喩	22/7
211.	「意識高え高級ラーメンよか <u>100 億</u> 倍はひでえかもしんねえがな」	張喩	22/17
212.	「 <u>食い意地</u> だけで生きてる <u>ガンエン</u> くんが言うなら」	張喩	23/4
213.	「 <u>引くほど元気</u> だからさ」	張喩	23/14
214.	「特に大樹ちゃんなんか <u>底なしの体力!</u> 」	張喩	23/14
215.	「見ろその <u>ポタポタ</u> 垂れてんの」	声喩	2/8
216.	「 <u>ボッコボコ</u> の粉々にするだけで」	声喩	4/9
217.	「今なんかすごいこと <u>サラッと</u> 言った?」	声喩	7/4
218.	「大樹くんのパワーでそれぶつけたら火花で <u>ドカーン</u> て火打ち石的な」	声喩	8/8
219.	「手足ふっとぶ <u>レベル</u> の事故も <u>バンバン</u> 起きてっから」	声喩	8/12
	「薬が尽きちまう。燃えるもんじ <u>ゅじゃん</u> ブチ込め!」	声喩	9/2
	「メルミット反応でフライパンが <u>ドドロ</u> だ」	声喩	10/6



222.	「一撃でやれよ。 <u>ダラダラ</u> 血流して粘んのはお互い非合理的だろが」	声喩	10/16
223.	「なんであんな首ばかりずっと気にして <u>ゴキゴキ</u> 鳴らしてたんだ？」	声喩	12/11
224.	「 <u>ツルっピカ</u> やないか！」	声喩	13/5
225.	「なんやずっと <u>シャコシャコ</u> 」	声喩	13/10
226.	「なんやずっと <u>カンカン</u> 」	声喩	13/12
227.	「なんやずっと <u>クネクネ</u> 」	声喩	13/15
228.	「首が治るなら <u>バラバラ</u> 石像もひっつけて復活液かけたらつながりました！」	声喩	15/9
229.	「土に <u>パンパン</u> に詰めるしかねえ」	声喩	16/14
230.	「千空くんの頭が <u>ツンツン</u> に！」	声喩	18/13
231.	「割ると <u>ピカピカ</u> で超ヤベーぜ」	声喩	19/4
232.	「先輩人類たちが何百万年もかけて <u>ジワジワ</u> 作ってった」	声喩	19/17
233.	「もう腕が <u>パンパン</u> になってきたぜ」	声喩	21/16
234.	「村人全員 <u>キラキラ</u> 槍で大喜びじゃねえんだぞ」	声喩	21/19
235.	「炭酸カリウムで <u>モチモチ</u> にする」	声喩	22/14
236.	「わあああ <u>ズルズル</u> って！食べる感じも　こんなの初めてなんだよ！！」	声喩	22/18
	「おとが猫じゃらしだからな...なんこの <u>ボゾボゾ</u> 」	声喩	22/19
	「後引く苦みが <u>ニチヨニチヨ</u> と薬膳のおもえば食えるか」	声喩	22/19



239.	「 <u>もっちり</u> とすっげえ！」	声喩	23/4
240.	「時間たつと麵 <u>ダルダル</u> のなっちまうぞ！」	声喩	23/6
241.	「もう怖くて手足 <u>プルプル</u> でせっかくのラーメンこぼしちゃいそうでね」	声喩	23/10
242.	「懐かしいラーメンの香りがして <u>フラフラ</u> ~っとさ」	声喩	23/11
243.	「 <u>フーフー</u> 機能パワーアップ改造した製鉄所レベル2だぜ！」	声喩	23/13
244.	「俺はなんのポリシーもない世界一 <u>ペラッペラ</u> な男だ」	声喩	23/17
245.	「固まった銅線鉄棒に <u>グルブル</u> 巻きまくる！！」	声喩	24/9
246.	「 <u>ボロボロ</u> だあ～ 金の槍」	声喩	25/4
247.	「息合わせて回せねえと <u>ガッタガタ</u> にブツ壊れんぞ」	声喩	25/9

